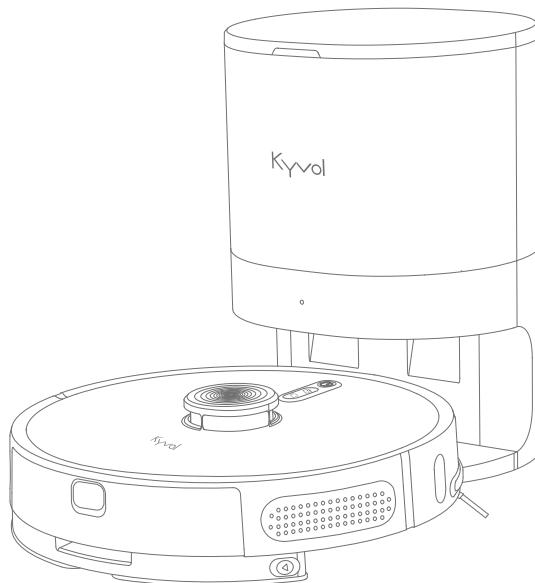




Cybovac™



自動ダスト排出ベース付きLDS掃除機

取扱説明書

S31

コンテンツ

重要な安全上のご注意	01
電池	02
パッキングリスト	03
製品概要	04
LDS掃除機	04
自動ダスト排出ベース	05
リモコン	05
はじめに	06
LDS掃除機	06
自動ダスト排出ベース	06
操作ガイド	07
充電	07
清掃準備	08
LDS掃除機の操作方法	09
自動ダスト排出ベースの操作	13
製品メンテナンス	14
クリーニングと交換頻度	15
ダストボックス及びフィルター	16
サイドブラシ	18

メインブラシ	19
センサーと充電接点	20
ロボットの上部	21
オムニホイール	21
ウォータータンクとモップクロス	22
IRレンズと充電・ダスト排出コンタクト	23
ファンフィルターブラケット	24
仕様	24
トラブルシューティング	25

重要な安全上のご注意

本製品をご使用になる前に、以下の注意事項をよくお読みください。

本製品はご家庭での使用に限ります。

- ユーザーは、以下の重要な安全上の注意事項を理解している場合のみ、ロボット掃除機を操作してください。この機器は、身体的、感覚的、精神的に障害のある人や経験や知識のない人（子供を含む）が使用することを目的としたものではなく、個人の安全に責任を持つ人の監督や指示がない限り、使用することはできません。
- 大人は、この機器で遊ばないように子供を監督する必要があります。
- 本機は、付属の電源のみと組み合わせて使用してください。Kyvol製造のオリジナル部品のみ使用してください。付属品や交換部品が必要な場合は、当社まで直接お問い合わせください。
- ロボット掃除機で清掃する時は、濡れた床などやその近くで操作しないでください。
- 監視されていない乳幼児や子供の近くでロボット掃除機を操作しないでください。
- タバコや高温の灰など、燃えているものや喫煙しているものを清掃するためにCybovacを使用しないでください。火災の危険があります。
- 本製品の上に他の物を置いたり、本製品に衝撃を与えたたりしないでください。
- 濡れた手で操作しないでください。
- 破損した電源コードやプラグは使用しないでください。
- 油や塗料などの可燃性液体の清掃にはロボット掃除機を使用しないでください。
- ロボット掃除機のフィルターに香水や香料を使用しないでください。火災の危険があります。
- 暖炉のある部屋やロウソクの火のついた部屋、壊れやすいものがある床などでは操作しないでください。
- ソケットが露出している床には使用しないでください。
- 床に傷をつけたり、破損したりしないようにするためにも、一般的には狭い範囲でロボット掃除機のテストをしてから使用することをお勧めします。
- 事故を起こさないためにも、ロボット掃除機が使用中であることを全員に周知しておきましょう。
- 本製品をご使用になる前に、必ず「ダストボックス」と「フィルター」を取り付けてください。
- ロボット掃除機を使用する前に、機器が絡まる可能性のある床の電源コードなどをすべて片付けてください。
- ロボット掃除機を使用する前に、床に散乱しているものをすべて片付けて、機器の開口部が塞がれないようにしましょう。これは、服や散らばった紙なども含めています。

- 髪の毛の塊や、空気の流れを悪くするようなものにはCybovacを近づけないようにします。
- 本製品を移動させるには、両手で手に持ってください。
- 本製品の清潔にするには、乾いた布または湿った布をご使用ください。
- 掃除機の掃除やメンテナンスをする前に、「自動ダスト排出ベース」のプラグをコンセントから抜く必要があります。
- 子供に掃除やメンテナンスをさせないでください。
- 掃除機を長時間使用しないときは、「自動ダスト排出ベース」のプラグを抜いてください。
- 不適切な操作、ロボット掃除機の分解、上記の安全上の注意事項を守らなかったことによる火災、爆発、感電について、Kyvolは責任を負いかねますのでご了承ください。

電池

- Cybovacには充電式リチウム電池を搭載しています。
- 本機に含まれる電池は、技術者のみが交換することができます。オーバーヒート、火災、けがの原因となりますので、ご自身でバッテリーを取り外したり、交換したりしないでください。
- 火気や直射日光など、直接手の届く熱源にバッテリーをさらさないでください。火災の危険があります。
- Cybovacやバッテリーパックを火や水などの液体中に捨てないでください。これは、爆発の危険性を避けるためです。
- リチウムイオン電池を家庭ごみに捨てないでください。各地の環境関連法規を遵守して処分してください。

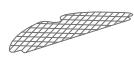
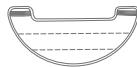
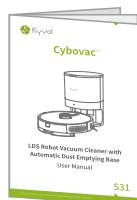
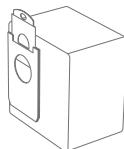
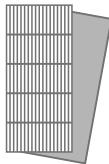
パッキングリスト



LDS掃除機S31

自動ダスト排出ベース
(自動汚れ処理)

リモコン

清掃ツール
(ダストボックス内部)スペアサイドブラシ×2
(洗えるモップクロス付き)スペア洗える
モップクロス 使い捨てモップ×10

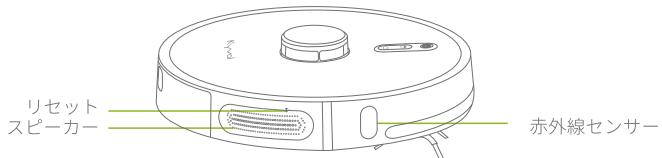
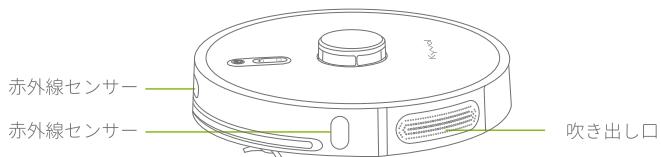
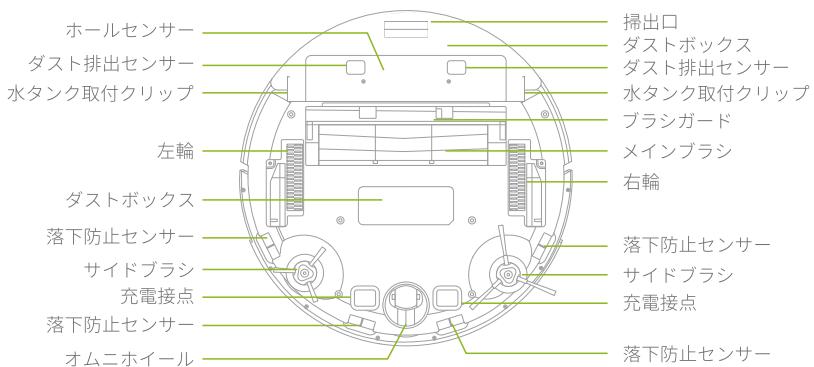
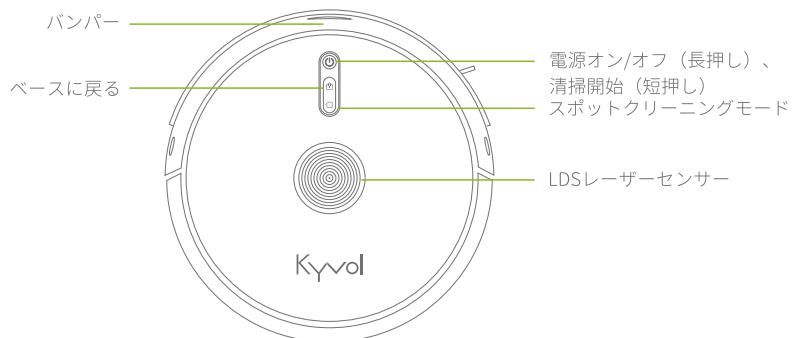
スペアHEPAとスポンジ スペアダストバッグ×2

説明書

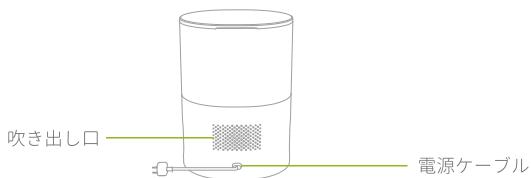
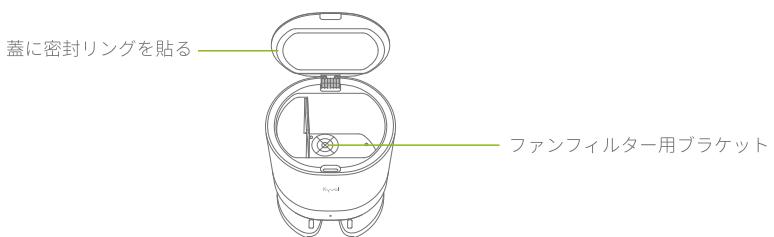
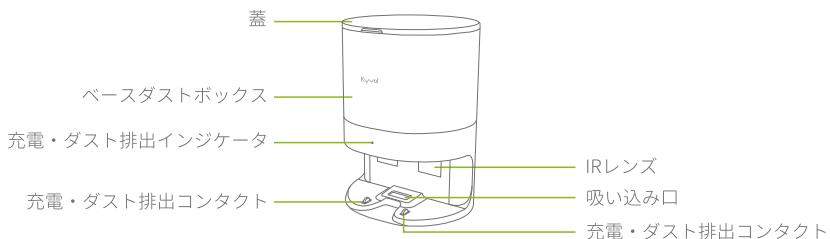
KYVOLアプリご
利用ガイド

製品概要

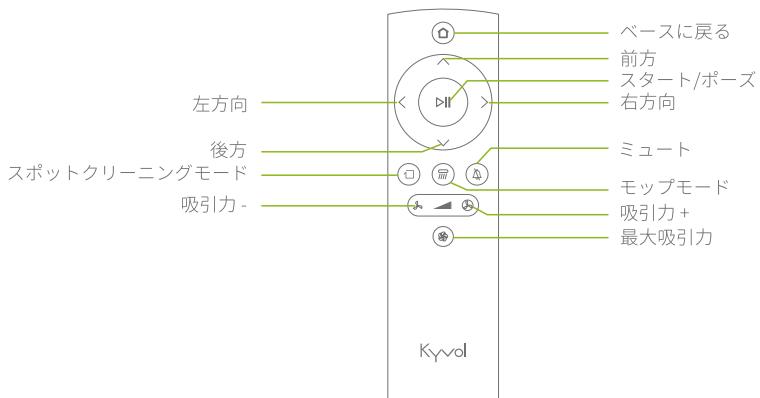
LDS掃除機



自動ダスト排出ベース



リモコン



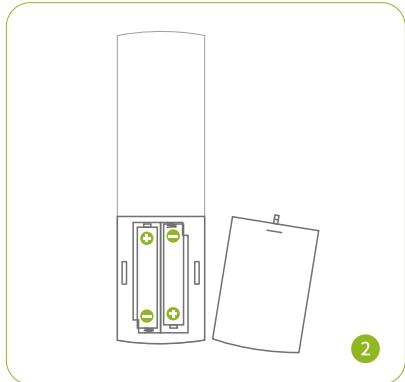
はじめに

LDS掃除機

- ①ロボット掃除機の両側から保護材を取り除きます。
- ②「リモコン」に単4電池をセットします。



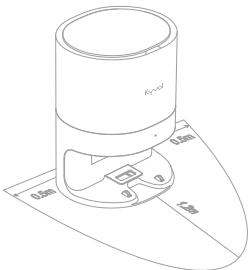
①



②

自動ダスト排出ベース

正面に1.2m以上、ベースの左右に0.5m以上のクリアスペースがあることを確認してください。



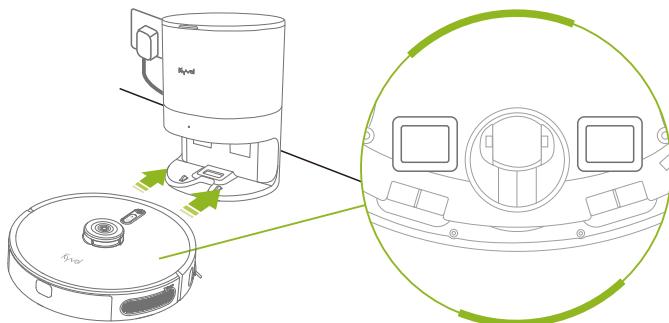
！ 注意：

1. ベースに電源が入っていることを確認してください。電源を入れると、ベースの電源ランプがゆっくりと呼吸をするような速さで、白く点滅します。
2. Cybovacがアクセスしやすい場所にベースを置きます。
3. ベースが電源に接続されていることを確認して、電池残量が少なくなった場合にCybovacがベースを探すことができるようになります。

操作ガイド

充電

初めて使う前に、Cybovacをフル充電しておきましょう。Cybovacの底面の「充電接点」とベースの充電接点を手動で合わせます。



インジケーターランプ:

充電中	充電完了	充電不足

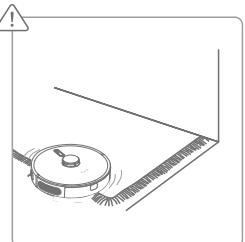
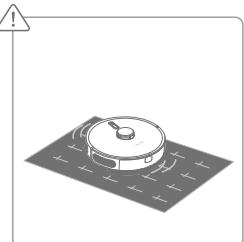
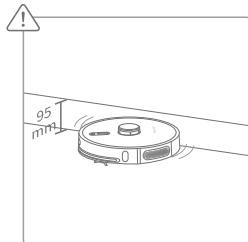
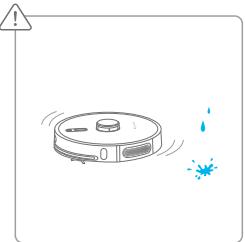
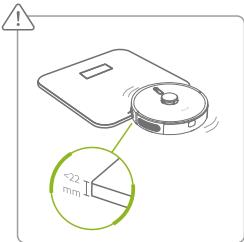
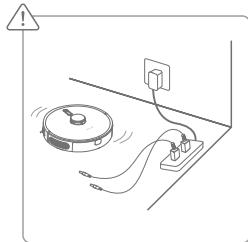
オレンジに点灯 白くに点滅 オレンジに点滅

！ ご注意:

1. Cybovacはフル充電に最大6.5時間かかります。これにより、中程度の吸引力で、硬い床で最大240分の清掃時間が得られます。
2. バッテリーの寿命を延ばすために、長時間使用しない場合は、少なくとも3ヶ月に1回はロボット掃除機を充電してください。
3. ご自身で電池交換のために電池ボックスを開けないでください。ロボット掃除機が充電できない場合は、support.jp@kyvol.comまでメールでご連絡ください。

清掃準備

手間のかからないように、掃除する場所を確認して整理しましょう。



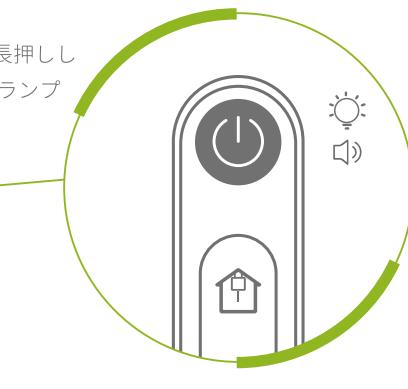
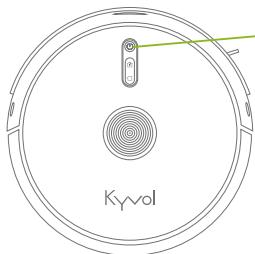
！ご注意：

1. 電源コードやロープなど、ロボット掃除機に絡まる可能性のあるものはすべて取り除いてください。
2. Cybovacは、厚さ22mmまでの物に登ることができます。これらの物を掃除したくない場合は、該当場所から取り除きましょう。
3. Cybovacで掃除機をかけるときは、濡れた床などで操作しないでください。
4. 機器が引っ掛からないように、床から95mm以下の家具（Cybovacの厚さは95mmのため）にはCybovacを近づけないようにしてください。
5. Cybovacは、「落下防止センサー」から崖と判断されることがあるため、暗い場所では動作しない場合があります。
6. カーペットの端から下へフリンジを折込み、ロボット掃除機が絡まないようにします。

LDS掃除機の操作方法

電源をオンにする

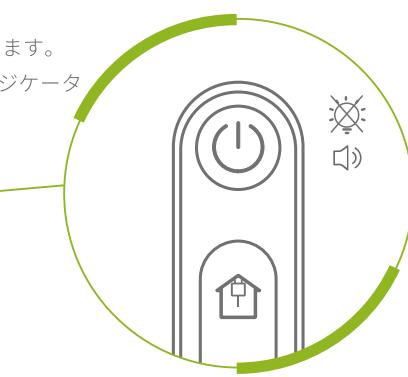
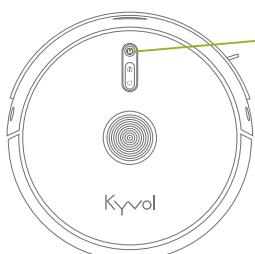
オプション1：起動音が聞こえるまで  を長押しして掃除機をオンにします。インジケーターランプは常時点灯の明るい白色になります。



オプション2：充電中に掃除機の電源が自動的に入ります。

電源をオフにする

電源オフの音が聞こえるまで  を長押しします。これで掃除機がオフになります。白色のインジケーターランプがゆっくりと消えていきます。



スタンバイモード

電源を入れた後、清掃コマンドがない場合、掃除機は「待機モード」になり、電源インジケータがゆっくりと呼吸するように、白色に点滅します。

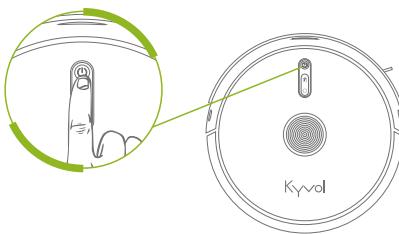
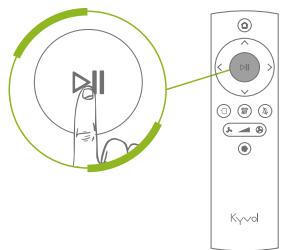
「待機モード」で10分経過すると、掃除機は自動的にベースに戻ります。

掃除モード

自動クリーニングモード

電源を入れた後、Cybovacの  を押すか、リモコンの  押して「自動クリーニングモード」をオンにする。

これにより、Cybovacは、現在の領域がクリーンアップされるか、バッテリーの電力が低下するまで、中程度の吸引力（デフォルトレベル）ですべてのアクセス可能なスペースをクリーンアップするように指示されます。



- * Cybovacの①を押すか、リモコンの▷||を押すとCybovacを一時停止し、もう一度押すと再び開始します。
- * リモコンの↖↖↖↗を押して、Cybovacの向きを手動で調整します。
- * 掃除中にCybovacで④またはリモコンで④を押すと、スイーパーが自動的にベースに戻ります。
- * リモコンの⑤ボタンを押して、吸引力を調整します。⑥ボタンを押して、掃除機を最大吸引レベルに調整します。



ヒント：

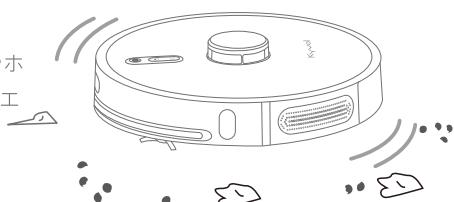
- ① バッテリーが少なくなると、ロボット掃除機は自動的にベースに戻って充電します。ロボット掃除機を常にベースに接続し、完全に充電してから操作することをお勧めします。
- ② 電池残量が少なくなると、Cybovacは「自動清掃モード」で設定したスケジュール清掃ができなくなり、ビープ音が鳴ります。その場合は、速やかにCybovacを充電してください。
- ③ 掃除の前には、ロボットにスタート地点を記憶させるためにも、掃除前にロボットをベースに戻すようにコントロールすることをお勧めします。掃除中にロボットを移動させたり、拾ったりしないでください。スタート地点とマップが無効になります。

スポットクリーニングモード

このモードは、特定のエリアを重点的に掃除するために使用されます。

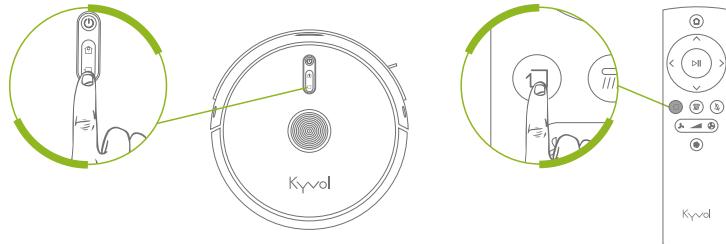
ステップ1：

集中的に掃除が必要なエリア、つまりゴミやホコリが多いエリアを選択し、Cybovacを掃除エリアの中心に移動させます。



ステップ2：

Cybovac/リモコンの⑦ボタンを押して、スポットクリーニングを開始します。掃除機は四角いパターンで移動します。その最大面積は約2.25平方メートルです。



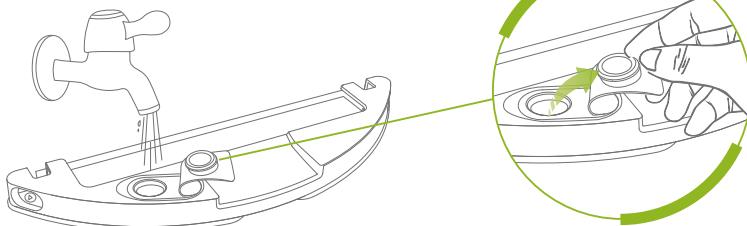
* Cybovacの① またはリモコンの ▶II を押すとCybovacを一時停止し、その後リモコンの ▲▼◀▶ を押すと、Cybovacの向きを手動で調整することができます。

* Cybovacで ② またはリモコンの ③ を押すと、Cybovacをベースに戻すことができます。

モップモード

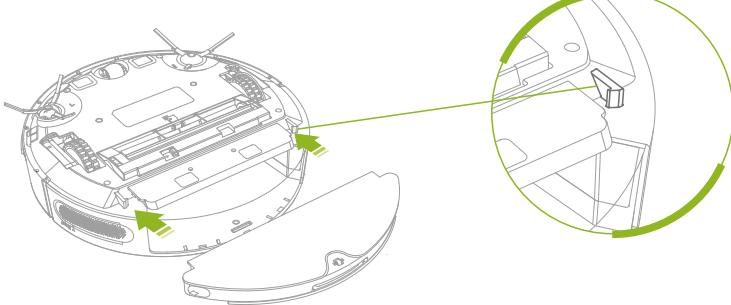
ステップ1：

「水タンク」に水を入れます。



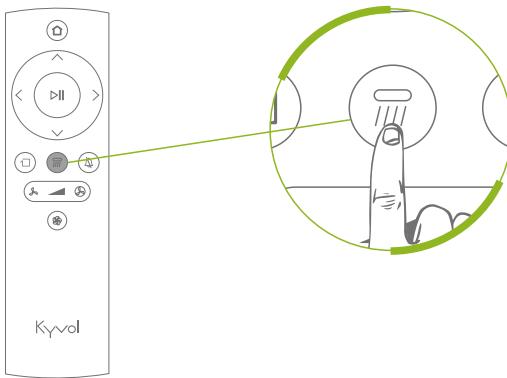
ステップ2:

Cybovacの底面に「水タンク」を合わせ、「水タンク取付クリップ」を取り付け、装着します。



ステップ3:

リモコンの を押して「モップモード」を開始し、リモコンのもう一方のモードボタンを押すと、そのモードで掃き掃除とモップ掃除を同時に開始します。



！ご注意:

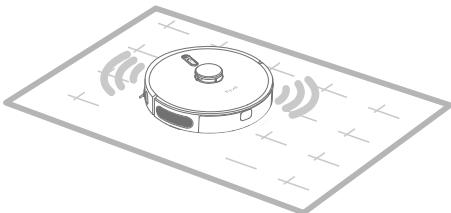
1. Cybovacを使用しないときは、「水タンク」の両サイドのボタンを押して「水タンク」を取り出します。
2. 「水タンク」の水は真水のみを使用してください。自然成分の洗剤であっても、使用しないでください。Cybovacを損傷する恐れがあります。
3. カーペットの上ではCybovacで水拭きをしないでください。
4. Cybovacは滑らかで硬い表面の掃除が得意ですが、凹凸のある表面や粗い表面には効果が低下する可能性があります。
5. Cybovacで水拭きをする場合は、監督者が必要です。

カーペットの自動加圧

カーペットを掃除する際には、ロボット掃除機が自動的に吸引力を高めて、より深い汚れを落とします。硬い床に戻るときは、ロボット掃除機が自動的に中吸引に戻り、バッテリーの消費電力を節約します。

💡 ヒント：

カーペットを掃除する前に、ロボット掃除機がすでに最大吸引力になっている場合は、最大吸引力でカーペットを掃除し続けます。



その他の機能

Kyvolアプリにアクセスして、「エリア清掃モード」、「制限エリア設定」、「スケジュール清掃」など、Cybovacのさらなる機能をご確認ください。

自動ダスト排出ベースの操作

「自動ダスト排出ベース」は、ダスト排出機能と充電機能の両方を備えています。

💡 ヒント：

- ① デフォルトでは、掃除機は、毎回の清掃後、自動的にベースに戻ってダスト排出を完了し、充電を行います。
- ② 「水タンク」を備えた掃除機ではダスト排出ができません。ダスト排出前に「水タンク」を取り外してください。
- ③ Kyvolアプリにアクセスして、「絶対にダスト排出しない」、「1回清掃したらダスト排出する」などのダスト排出の頻度を設定することができます。

ダストバッグの交換

「ダストボックス」のオレンジ色のクイック点滅は、ダストバッグが満杯になったことを示しているか、アプリの指示に従ってバッグを交換することができます。4~8週間ごとにダストバッグを交換することをお勧めします。

ステップ 1：

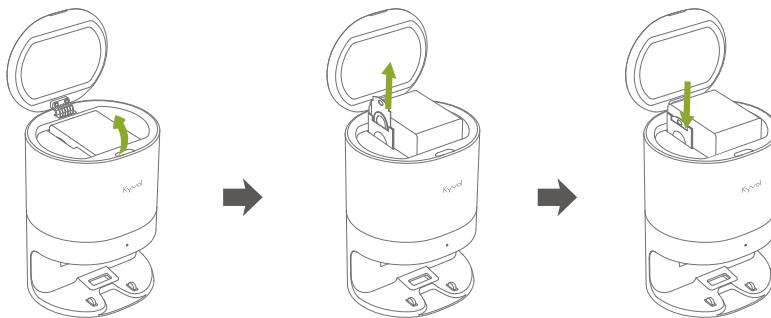
「蓋」を開ける。

ステップ 2：

「ダストバッグの取っ手」を引き上げて、「ダストバッグ」を取り出します。

ステップ 3：

「ダストバッグ」を新しいものに交換します。



製品メンテナンス

Cybovacの性能を最高の状態で維持するために、定期的なメンテナンスとCybovacの部品の清掃をお勧めします。

クリーニングと交換頻度

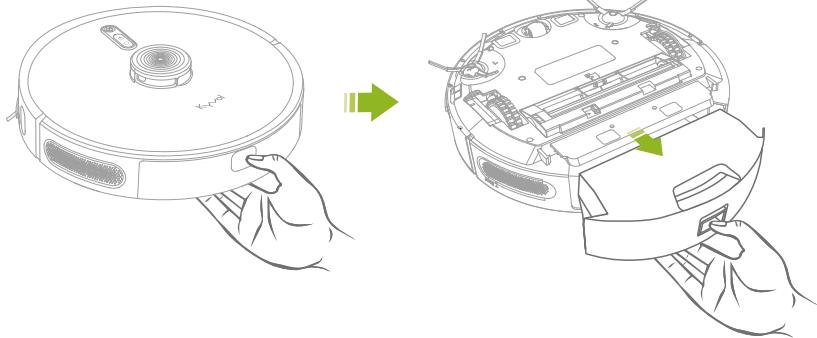
部品	清掃頻度	交換頻度
ダストボックス	毎回使用後	/
フィルター	週一回（ペットがいる場合は週二回）	2ヶ月に一度
サイドブラシ	週一回	3から6ヶ月に一度、またはひどく消耗した場合
メインブラシ	二週間に一回	6から12ヶ月に一度、またはひどく消耗した場合
ブラシガード	毎月一回	/
センサー	毎月一回	/
充電接点	毎月一回	/
オムニホイール	毎月一回	/
ウォータータンク	毎回使用後	/
モップクロス	毎回使用後	ひどく消耗した場合
ダストバッグ	/	4~8週間ごと、または満杯になったら
IRレンズ	毎月一回	/
充電・ダスト排出コントакト	毎月一回	/
ファンフィルターブラケット	毎月一回	/

ダストボックス及びフィルター

毎回ロボット掃除機をご使用後、「ダストボックス」を空にして、定期的に「フィルター」を清掃してください。

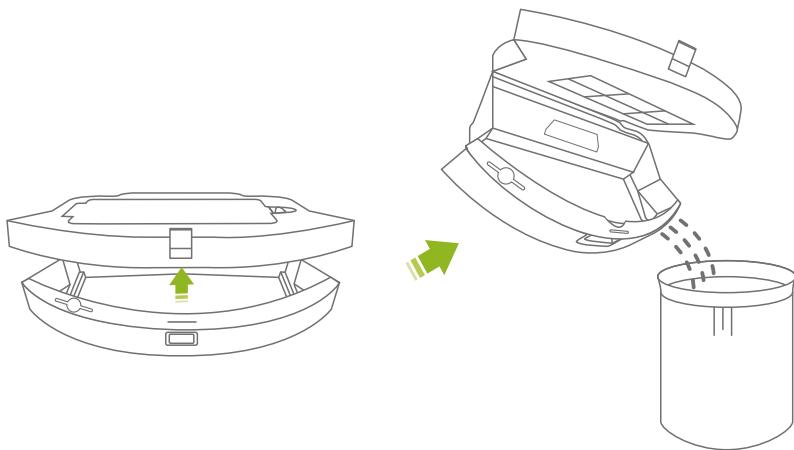
ステップ 1：

スナップを押さえて「ダストボックス」を外します。



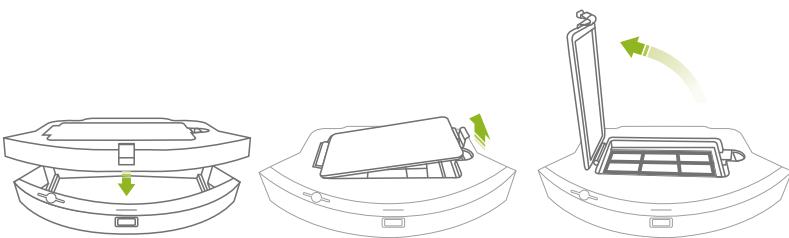
ステップ 2:

「ダストボックス」の上蓋を開けて、中のホコリをゴミ箱に捨てます。



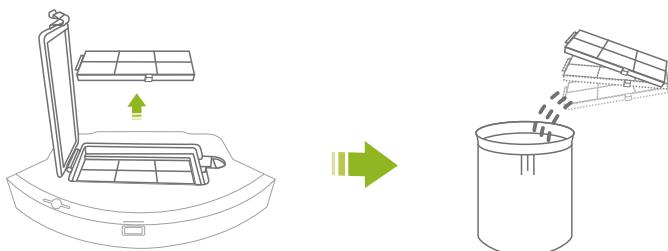
ステップ 3:

「ダストボックス」の上蓋を閉め、「フィルター収納部」を開けます。



ステップ 4:

「フィルター」を取り外してゴミ箱にホコリを振り落とします。

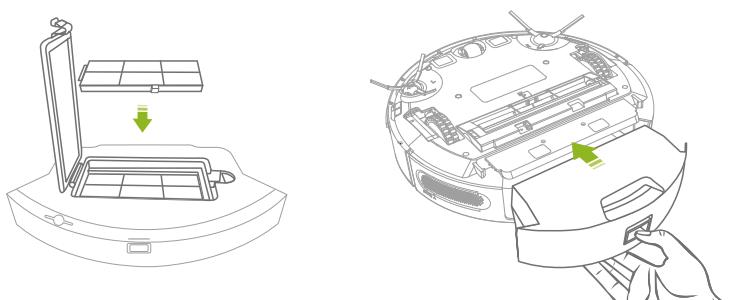


💡 ヒント：

「フィルター」は、黒色スponジ、白色HEPA、フィルター枠で構成されています。
フィルター枠の掃除はできますが、スponジやHEPAは水で洗わないでください。

ステップ 5:

「フィルター」をフィルター収納部に入れ、「ダストボックス」をロボット掃除機に入れます。



 ヒント：

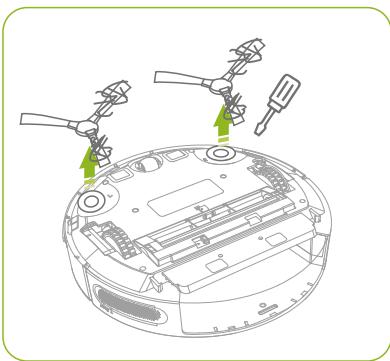
- ① フィルターは、Cybovacの内部への塵埃の侵入を効果的に防止し、二次空気汚染からCybovacの換気システムを保護するのに役立ちます。
- ② 「清掃ツール」（「ダストボックス」に入っている）を使ってフィルターの掃除をすることもできます。

サイドブラシ

時間が経つと「サイドブラシ」が曲がったり、傷んだりすることがあるので、定期的に掃除や交換をすることをお勧めします。

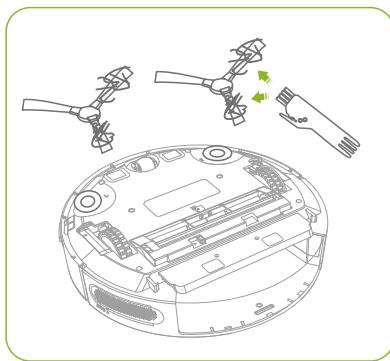
ステップ1：

ドライバーで「サイドブラシ」のネジを外します。



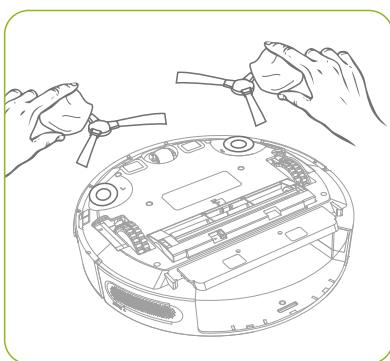
ステップ2：

「ダストボックス」から「清掃ツール」を取り出し、その刃でブラシに巻きついた髪の毛やゴミを取り除きます。



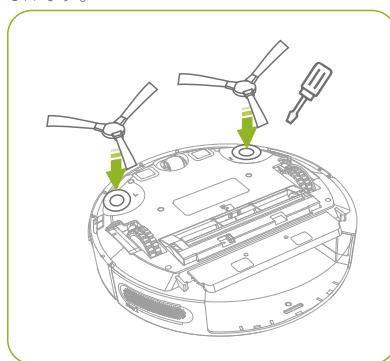
ステップ3：

湿らせた布でブラシを掃除します。



ステップ4：

「サイドブラシ」を所定の位置に戻して締めます。古いブラシが破損している場合は、新しいブラシを取り付けるだけでOKです。



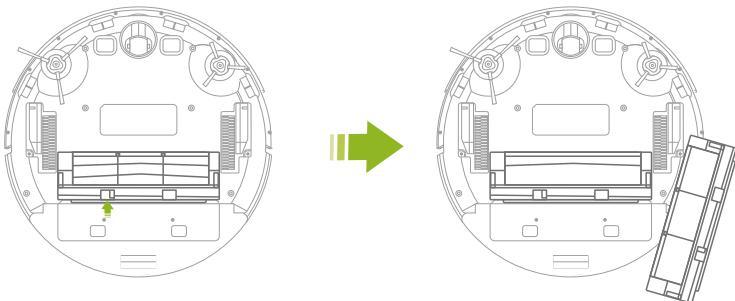
メインブラシ

ステップ1：

Cybovacを裏返して「メインブラシ」を探します。

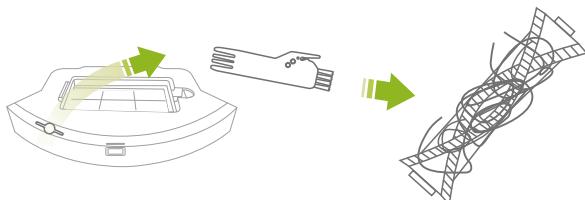
ステップ2：

左側のラッチを押して、「ブラシプロテクター」をブラシから外します。



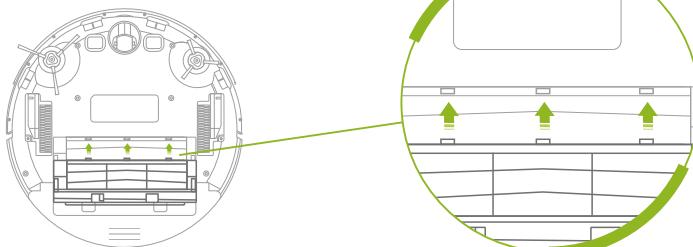
ステップ3：

「ダストボックス」から「清掃ツール」を取り出し、絡まった毛をカミソリの刃で切り落とし、ブラシで残った汚れを落とします。



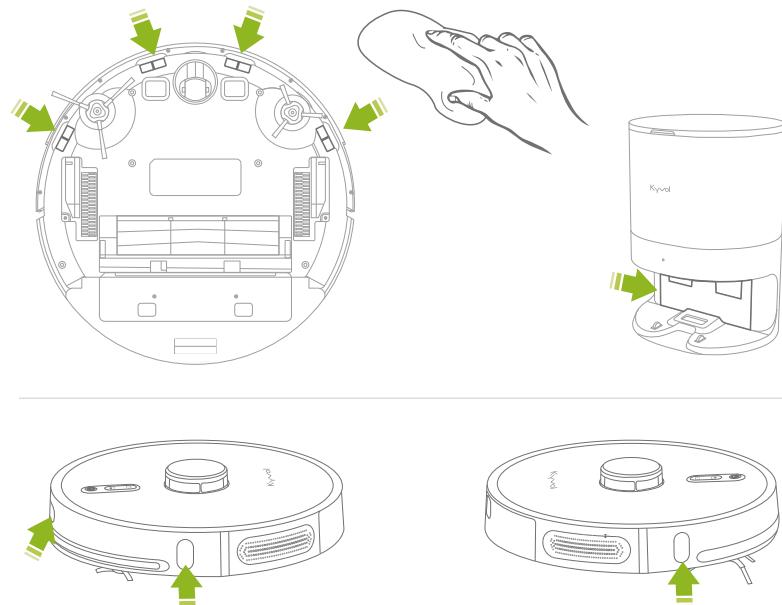
ステップ4：

「メインブラシ」を元に戻して、「ブラシガード」を再度取り付けます。

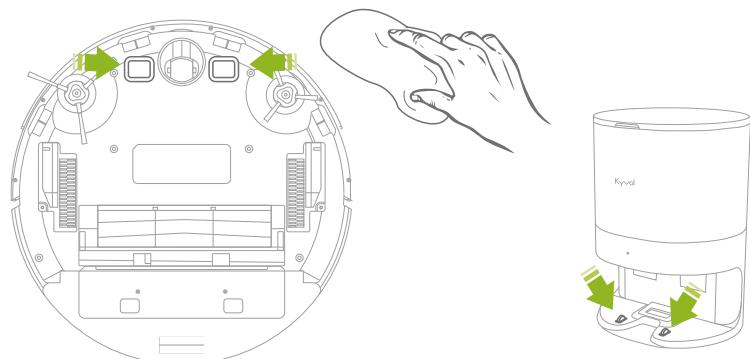


センサーと充電接点

- 1 湿った布ですべてのセンサーを清掃してください。

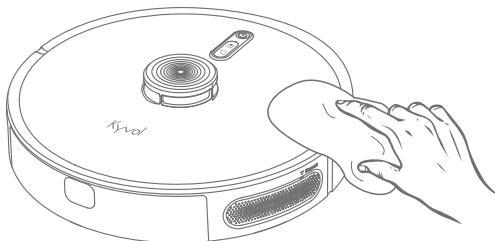


- 2 乾いた布でCybovacとベースの「充電接点」を清掃してください。 (アルコールの使用はお勧めしません。)



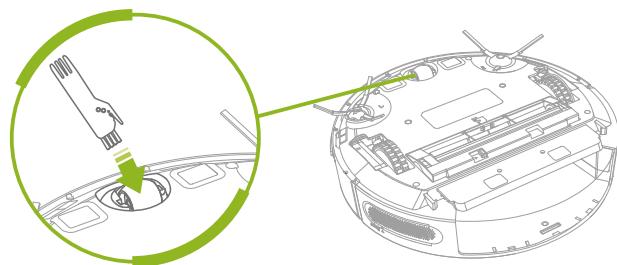
ロボットの上部

湿った布でロボット掃除機の上部を清掃してください。



オムニホイール

「オムニホイール」は取り外せません。付属の「清掃ツール」を使用して、ホイールに絡まった髪の毛やゴミなどを掃除してください。



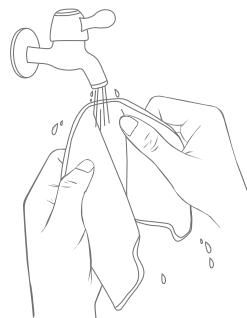
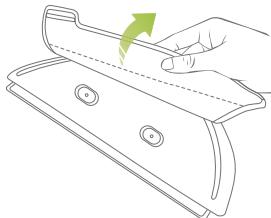
💡ヒント：

「オムニホイール」を水で洗浄しないでください。

ウォータータンクとモップクロス

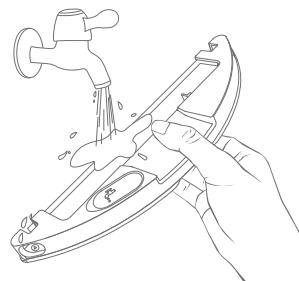
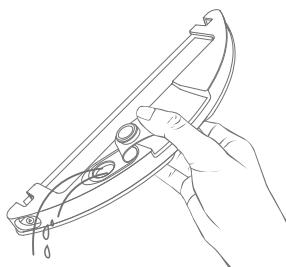
ステップ1：

タンクから「モップクロス」を取り外して洗います。



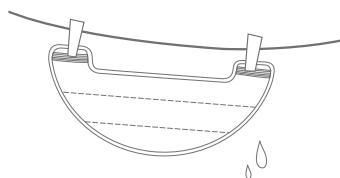
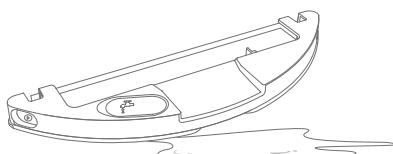
ステップ2：

残った水を捨てて、「ウォータータンク」をきれいにしてください。



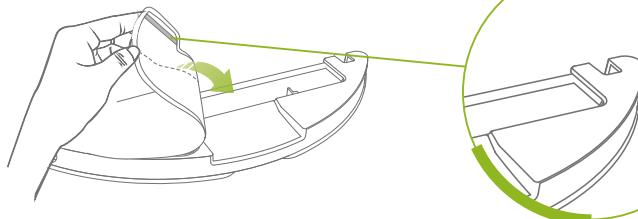
ステップ3：

ウォータータンクとモップクロスを自然に乾燥させます。



ステップ4：

「ウォータータンク」の底に「モップクロス」を貼り付けて固定します。

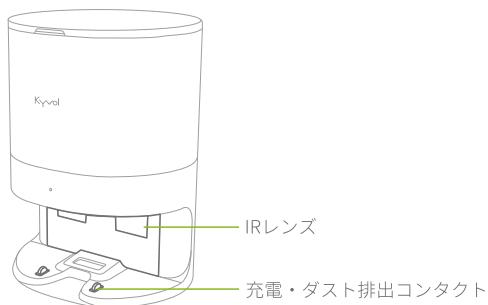


！ご注意：

1. ウォータータンクの洗浄時、お湯や洗剤を使用しないでください。ウォータータンクを損傷する恐れがあります。
2. モップクロスの洗浄時、お湯を使用しないでください。

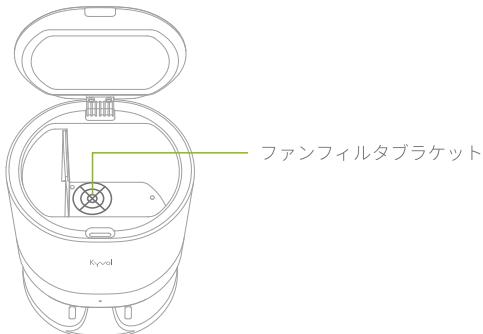
IRレンズと充電・ダスト排出コンタクト

「IRレンズ」と「充電・ダスト排出コンタクト」が汚れていないか確認してください。汚れた場合は、清潔で乾いた布で取り除いてください。



ファンフィルタブラケット

「ファンフィルタブラケット」にゴミがないか確認します。その場合は、清潔で乾いた布で取り除いてください。



仕様

ロボット	サイズ	350×350×98mm／(13.8×13.8×3.9インチ)
	吸引レベル	4
	運転時間（フル充電時のデフォルト吸引時）	平均240分
	クリーニング モード	自動、スポット、エリア、エッジ
ダスト排出ベース	サイズ	255×225×348.3mm／(10×8.9×13.7インチ)
	ダストバッグ容量	4300ml
	定格動作電圧	AC 100-120V (米国) /220-240V (EU)
	定格電力	1050W

トラブルシューティング

何か異常が発生した場合は、掃除機の電源インジケータとベースの「充電・ダスト排出インジケータ」が、オレンジ色で急速に点滅しますので、以下のトラブルシューティングに従って確認してください。さらにサポートが必要な場合は、下記までご連絡ください。
support.jp@kyvol.com。

Q1. Cybovacが自動ダスト排出ベースに戻れません。

- * 「自動ダスト排出ベース」が電源に差し込まれていることを確認してください。
- * 「自動ダスト排出ベース」付近に障害物が多すぎるかどうかを確認してください。ベースは空いている場所に置いてください。
- * Cybovacとベースの間の距離を確認してください。距離が長くなればなるほど、ベースにたどり着くまでに時間がかかります。
- * Cybovacのバッテリーの残量が少ないか、著しく低下していないか確認してください。
- * 掃除の前に掃除機がスタート地点を覚えているように、掃除機をコントロールして掃除機が元に戻るようにすることをお勧めします。

Q2. Cybovacが無反応。

- * 掃除機のスイッチが入っていることを確認してください。
- * Cybovacのバッテリーの残量が少ないか、著しく低下していないか確認してください。
- * Cybovacのリモコンを使用する場合は、リモコンの電池の残量が十分にあるか確認してください。
- * Cybovacのリモコンを使用する場合は、リモコンとCybovacの距離が有効範囲(3m/9.84ft)内であることを確認してください。
- * 周囲温度が低すぎない(0°C以下)、高すぎない(50°C以上)ことを確認してください。

Q3. リモコンが効かない。

- * リモコンの電池の残量が十分にあるか確認してください。
- * 掃除機のスイッチが入っていることを確認してください。
- * Cybovacのバッテリーの残量が少ないか、著しく低下していないか確認してください。
- * Cybovacのリモコンを使用する場合は、リモコンとCybovacの距離が有効範囲(3m/9.84ft)内であることを確認してください。

Q4. Cybovacが突然動かなくなる。

- * Cybovacが止まっているか、引っかかっていないかを確認してください。
- * Cybovacのバッテリーの残量が少ないか、著しく低下していないか確認してください。
- * Cybovacが一時停止していないことを確認してください。

Q5. Cybovacが予約時間になっても清掃を開始しません。

- * 掃除機のスイッチが入っていることを確認してください。
- * 時刻設定のAM/PMが正しいことを確認してください。
- * Cybovacのバッテリーの残量が少ないか、著しく低下していないか確認してください。
- * 予約時間がキャンセルになっていないか確認しましょう。

*掃除機の状態が異常な場合は、スケジュール清掃を開始できません。

Q6.吸引力が弱かったり、掃除機の底からゴミが漏れたりします。

- *4段階の吸引レベルがあり、(▲ ▼ ⏪) ボタンを押して、吸引力を調整します、⑨ を押すと最大吸引レベルに調整できます。
- *「ダストボックス」がいっぱいになつていなか、破損していないか確認し、破損している場合は、「ダストボックス」を空にするか、新しいものに交換してください。
- *「フィルター」アセンブリが詰まっているかどうかを確認し、詰まっている場合はフィルターを清掃し、必要に応じてHEPAを交換してください。
- *「メインブラシ」に異物が付着していないか確認し、付着している場合は「メインブラシ」を清掃してください。

Q7. Cybovacから大きな音や不快な音が聞こえます。

- *Cybovacが動いている時にある程度の音がするのは正常な現象のため。
- *Cybovacが不快な音を出す場合は、「メインブラシ」や「サイドブラシ」に異物が絡まつていないか確認してください。
- *騒音を発生させる物体を吸い込んだ場合は、「ダストボックス」を確認してください。
- *掃除機は、異常が発生した際に音声で注意喚起を行います。具体的な原因を確認することができます。

Q8. Cybovacが充電をしません。

- *ベースがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
- *Cybovacの「充電接点」とベースの充電接点が一致していることを確認してください。
- *ベースの周囲に十分なスペースがあり、「充電・ダスト排出コンタクト」の表面にゴミや障害物がないことを確認してください。

Q9. ブレークポイントの継続清掃がうまくいきません。

- *Kyvolアプリを開き、掃除機が「おやすみ」モードになつていなかことを確認してください。このモードでは、掃除機はブレークポイント継続清掃を実行できません。

Q10. CybovacがWiFiに接続できません。

- *正しいパスワードを入力したか確認してください。
- *掃除機、モバイル機器、ルーターをできるだけ近づけてください。
- *2.4GHz WiFiが選択されていることをご確認ください。
- *公共のネットワークはお勧めしません。
- *掃除機をリセットするには、⑨ と ⑩ を同時に3~5秒間押し続けてから、再度お試しください。
- *Kyvolアプリを再インストールしてから、再度WiFiに接続してみてください。

Q11. Cybovacは常にオフラインです。

- *掃除機の電源が入つていることを確認してください。
- *モバイル機器のネットワーク接続を確認してください。



顧客サポート

日本

: support.jp@kyvol.com



@kyvolglobal



www.kyvol.com



@kyvol_global